

2011年4月

# ムラサキオモト種

Boat lily

(*Tradescantia spathacea* Sw.

[=*Rhoeo discolor* (L'Herit.) Hance ex Walp.] )

## ムラサキオモト審査基準

### I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ツユクサ科 (*Commelinaceae*) ムラサキツユクサ属 (*Tradescantia* L.) のムラサキオモト種 (*T. spathacea* Sw. [= *Rhoeo discolor* (L'Herit.) Hance ex Walp.]) の全ての品種に適用する。

### II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 挿し穂 (本葉 5~6 枚の天芽)
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 20 本
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

### III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 15 個体
- iii) 栽培期間 1 生育周期 (増殖期から一般に生育が停止する冬期までとする。)
- iv) 調査方法
  - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。
  - 均一性は供試した全ての個体で判定する。
  - 調査時期等 特に指示がない限り、一般的に秋の生育盛期(挿し木後 5~6 ヶ月程度)の時期に行う。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

### IV. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性の判定は、栄養繁殖性品種の場合、供試個体数が 15 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

### V. グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- i) 葉の表面の斑の有無 (形質 9)
- ii) 葉の表面の斑の色 (形質 11)

## VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G : グループ分けに使用する形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 疑似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団とした観察記録

網掛け : 種苗法施行規則第 5 条で定める願書 (別紙様式第 1 号) に出願者が記載する特性及び階級値

### 状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of Characteristics)

形質番号	UPOV	記号	形質		定義	調査方法	階級	状態		標準品種	備考
			(日本語)	(英語)				(日本語)	(英語)		
1		QN	草丈	Plant: height	地際から植物体の最頂部までの高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	オーロラ ムラサキオト	
2		QN	株の幅	Plant: width	株の最大径	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	オーロラ ムラサキオト	
3		QN	分枝の発生の強弱	Plant: branching of lateral shoot	一次分枝の発生程度及び伸長の強弱を総合的に判断	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ムラサキオト  オーロラ 矮性ムラサキオト	
4		QN	葉の長さ	Leaf: length	主茎の最大葉の押し広げた状態の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	オーロラ ムラサキオト	
5		QN	葉の幅	Leaf: width	主茎の最大葉を押し広げた状態の最大幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	オーロラ ムラサキオト	
6		QN (+)	葉の横断面の形	Leaf: shape in cross section	自然状態での葉の中央部分の横断面の形	観察 VG	1 2 3	平 やや凹 凹	flat slightly concave concave	オーロラ ムラサキオト	
7		QN	葉の周縁の波打ちの強弱	Leaf: undulation of margin	葉縁の波打ちの強弱	観察 VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	オーロラ ムラサキオト	

形質番号	U P O V	記号	形質		定義	調査方法	階級	状態		標準品種	備考
			(日本語)	(英語)				(日本語)	(英語)		
8		QN	葉の表面の緑色の濃淡	Leaf: intensity of green color on upper side	葉の表面の緑色の程度	観察 VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	ムラサキオト	
9		QL G	葉の表面の斑の有無	Leaf: variegation on upper side	葉の表面の斑の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ムラサキオト オーロラ	
10		QN (+)	葉の表面の斑の割合	Leaf: variegation: relative size of leaf area	葉の表面に占める斑の割合	観察 VG	1 2 3	小 中 大	small medium large	オーロラ	
11		PQ G	葉の表面の斑の色	Leaf : colour of variegation on upper side	葉の表面の斑の色	観察 VG	1 2	白 黄	white yellow		
12		QN	葉の表面のアントシアニン着色の強弱	Leaf : intensity of anthocyanin coloration on upper side	葉の表面のアントシアニン着色の強弱	観察 VG	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	Concolor オーロラ	
13		QN	葉の裏面のアントシアニン着色の強弱	Leaf : intensity of anthocyanin coloration on lower side	葉の裏面のアントシアニン着色の強弱	観察 VG	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	ムラサキオト	
14		PQ	開花の難易	Tendency of flowering	開花の難易	観察 VG	1 2	易 難	easy hard	ムラサキオト オーロラ	

VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

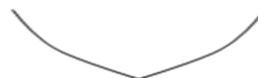
形質 6 葉の横断面の形 Char.6 Leaf: shape of cross section



1  
平  
flat



2  
やや凹  
slightly concave



3  
凹  
concave

形質 10 葉の表面の斑の割合

Char.10 Leaf: variegation: relative size of leaf area



2  
中  
medium



3  
大  
large